

2018年10月7日

福井しあわせ元気国体トライアスロン競技 レースレポート

西岡真紀

総合 16位 1:03:02

まず初めに、国体に出場するにあたり、和歌山県トライアスロン連合の皆さまをはじめ、沢山の方々にご支援、ご声援をいただき、本当に感謝申し上げます。

おかげさまで、和歌山県選手一同、全力を尽くしたレースをする事が出来ました。

スイム(750m) 11:20 **24位**

前日に行われたスタート位置どりで、アウトよりの33番スタートが勝敗を決めた結果となったスイム。

一人ひとりの名前を読み上げてもらい、普段ではほとんど味わうことのできない貴重なスタートは、本当に新鮮でとても気分が高まりました。

今回は台風の影響でスプリントレースとなり、激しいバトルを予測していましたが、うまく集団につくことができ、思っていたよりも良い位置でスイムアップをする事が出来ました。

バイク(20 km) 32:23 **21位**

2年前に初めて出場した岩手国体では、ドラフティングレースの経験不足が欺き落車。悔しく情けなく、そのリベンジを果たすためにこの2年間、たくさんのレースに出場し経験を積んできました。

苦手なトランジションもミスなくスムーズに進めることができ、エリートで活躍する選手が多くいた第2集団でレースを展開する事が出来ました。

とにかく途中で千切れないことだけを意識していましたが、コーナーでの立ち上がりや、集団走での走り方にはまだまだ課題が残る結果となりました。

ラン(5 km) 19:17 **16位**

今年はロングディスタンスのレースをメインに行い、ラストのランで粘り逆転するという展開が多かったのですが、スピード勝負には全く適応出来ず、一瞬で離されるという展開になってしまいました。

トータルでも1時間ほどのレースでしたが、周回コースという事もあり、途切れる事のない沿道からの応援は本当に励みとなりました。

国体という大舞台でレース出来る事は本当に貴重で、また、和歌山県を代表としてレースさせていただけたことはとても誇りに感じています。

この経験を今後にも活かし、自身の更なる向上と共に、和歌山県のトライアスロン界の発展にも繋げていきたいと思っています。

本当にご尽力いただき、ありがとうございました。

